

知的障害の重い自閉症の人たちへの支援について ～成人期の実践をふまえて幼児・学齢期に育みたい事～



講師：寺尾 孝士 先生

兵庫県丹波市出身。北海道北斗市に本拠地を置く幼児期から高齢期の知的障害や自閉症の人たちへの支援を展開している社会福祉法人侑愛会(通称ゆうあい)にて35年間勤務。
その後、平成23年より4年間川崎医療福祉大学にて教壇に立つ。
現在は社会福祉法人栗山ゆりの会、ハローENJOYⅡ施設長
社会福祉法人 北海道療育園 参与としてご活躍。

寺尾先生より

自閉症の人たちのことを理解しないで、療育や教育、支援を行っている、自閉症の人たちはとても辛い状態になります。このことが強度行動障害といわれるような不幸な結果となることがありました。また、強度行動障害の状態にならなくても、成人期には当然身につけていなければならないことが身につけていない人たちもいます。行動障害も含めてこのような残念な状態を示している成人期の人たちに接すると、幼児期・学齢期からの継続的で一貫した適切な働きかけの大切さを考えさせられます。

私は、大学時代を含めると50年以上も自閉症の人たちや知的障がいの人たちと関わってきました。これだけ長く関わっていると彼らが亡くなる場面に出会うことがあります。その時に彼が「自分の人生は幸せだった」と思ってくれるような支援をしてきたらどうかということを、考えさせられます。

まだ、自閉症の人たちへの支援に関して分からないこともありますが、それでも以前から比べると自閉症の人たちのことを理解した上で、根拠ある支援を展開していくことにより多くの成果が上がっています。これらのことを知らないで彼らの尊厳ある人生に関わるのは大きな罪だと思います。私の話が少しでも皆さんの参考になれば幸いです。

日時 2022年5月21日(土)
9:30～12:30(講演時間には小休憩を含む)

Zoom 開催(参加者を対象に後日配信あり)

主催

NPO法人岡山県自閉症児を育てる会

〒709-0826 岡山県赤磐市和田194-1

Tel.:086-955-6758 Fax.:086-955-6748

メール:acz60070@syd.odn.ne.jp

後援

岡山県教育委員会・岡山市教育委員会

赤磐市教育委員会・倉敷市教育委員会

山陽新聞社